



初代  
大島 精一郎 氏

自転車組み立ての修行で、東京に出たのち帰郷し、大島農機入社。後に高田市議員、議会議長を歴任、大島農機株式会社 第三代社長。大島農機の自転車部門を独立させ、大島自転車商会を設立。1978年逝去(81歳)。



2代  
大島 精次 氏

大学卒業後、2年間大島農機に勤務。後、大島自転車商会第2代社長に就任。現大島グループの始まりとなる。1984年上越ケーブルビジョンを創業。2014年「前島褒賞」受賞。2019年逝去(83歳)。

大島農機(創業1917年/大正6年)  
(1910年頃撮影)



大島グループ  
代表 大島 誠

## 感謝

大島グループは1922年(大正11年)、大島自転車商会の誕生を創業年と定め、今年で100周年を迎える。1917年創業の大島農機は農機具の製造を軸として継続し100年企業になったが、大島グループは会社の命をつなぐために業種・業態を変えてきた。

創業者の大島精一郎、2代目の大島精次の功績に対してはもちろんの事、この100年間に大島グループで働いていただいた総ての役員社員の皆様、そしてお客様、お取引業者様、大島グループをご支援頂いた総ての地域の皆様に改めて感謝の思いを捧げたい。

## 大島精一郎のこと 大島精次のこと

35年前、中学校教師から転職した私にとって商売の世界は未知であった。更には不思議な事に岳父の大島精次とは同じ会社で仕事をしたことがないのだが、自宅や移動中の車の中での大島精次の教えは今でも私の行動の指針になっている。

私はリアルな大島精一郎に会ったことはない。しかし、精次から面白い話を聞いた事がある。大島精一郎は旧高田市の議会議長を8年務めた後、大島農機の3代目の社長に就任した。その就任時の挨拶で「私は商売の事は良く分からないが、私が社長になれば会社は必ず儲かる。」と、豪語したそうだ。根拠の無い自信はリーダーに欠くべからざる資質である。一方で、お金をとても大切に扱った経営者のようで、自分の財布に入れるお札には、総て自分でアイロンをかけていたという。お金に対する敬意と(欲ではなく)愛情が感じられる。

大島精次は圧倒的に人を大切にした。その時々自分に出来る最大限を他人の為に成した経営者だと思う。それは反面、自分の能力や知識の限界を見抜き、事業を成すには多くの人の知恵と協力が必要だと魂レベルで理解していたのだと思う。精次はよく言っていた。「付き合いで何十万円使っても、ひとつのヒントで億単位の成果が出せる。」そして、「人間は他人に貸した金は1円でも忘れないが、受けた恩は簡単に忘れる。だから誠、他人に貸した金はくれたと思え、受けた恩は一生忘れるな。」心したい。

## 企業DNAの継承へ

私が大島グループの第3世代、そして第4世代からは、生物的DNAの継承からは離れる。その意味では、これから10年の最大テーマは、事業継承と企業的DNAの移植である。各社ともここ数年は意識的に人材を登用し、経営の一端を担ってもらってきたが、いよいよ本格的に経営を委ねる時期に入ってきた。これまでの取締役会は私(大島)の方針を理解し追認する場であることが多かったと思うが、これからは提案し議論し決定し実行する場に育てていきたい。今後の世界は技術革新の加速、人口減少と人口構成の劇的変化、都市と地方の経済格差の拡大、軍事的・経済的国際紛争勃発の可能性など、現代日本人が誰も経験したことのない世界が訪れる。また、組織の内部では発達障害への理解とハラスメント、LGBTQ等 働く人の人権に配慮する姿勢が重要となる。この変化に覚悟を持って立ち向かう経営者の、そして経営者集団の誕生を促し、活躍に期待する。

## 新しいビジネスは 周辺・掛け算・展開で

大島グループは人間臭い「サ・ローカル」な企業集団である。地域の発展と企業の発展はイコールだとの信念のもと経営してきた。事業内容は総じてオールドビジネスであるが、この経営姿勢はジワジワと地域に浸透し、皆様から浅くも広い支持を得てきたと評価している。しかし、コロナ禍が一気にこの状況を変えてしまった。マーケットがローカルな地域に限定されている為、お客様の行動制限と経済活動の停滞による可処分所得の減少は、大島グループのビジネスモデルに手痛い状況を生んでいる。

しかし、100年の歴史を振り返れば、戦争があり、ホンダとの争議があり、バブル崩壊があり、リーマンショックがありと、多くの不況を乗り越えて来た。そして不況を克服するたびに大島グループは強くなって来た。五風十雨が良い天気 ピンチはチャンスである。

新しいビジネスは、現在のビジネスの周辺にある。大島精次が挑戦したケーブルテレビ事業は街の電気屋さんの「共同アンテナの発想」の延長に在った。井手塾は「習い事」の延長線上でカーブス事業を行い、「子どもの教育の周辺」で発達障害への取り組みの必要性を感じ「また明日」を立ち上げた。フリーペーパーの「cocola・まるごと上越」を確実にご家庭に届ける必要性からポストイン事業が生まれ、宇喜世の食後により美味しい和菓子の提供がしたいと「あん味堂」が誕生した。

また、大島グループは異業種集団である。企業間の垣根を超えたコラボレーションが新しい商品やサービスを生み出す可能性は高い。新聞社×福祉事業とか、酒蔵×民泊事業とか、勝手に掛け算を考えてみよう。想像を超えた答えが生まれるかもしれない。

また、大島グループのサービスは、概ね上越や新潟県内に限られている。今こそビジネスエリアを他の地域や海外に、或いはネットの世界へ展開して行こう。技術の急速な進歩は「発想すれば実現する」時代を迎えている。足りない知恵は借りればいい。

## 温故知新

100周年を迎えた今 大島精一郎の壮大な覚悟と細やかな思いを持って、自分をさらけ出し、自分の能力を正しく把握し、事業を成す為に堂々と他人の力を自らに取り入れた大島精次の覚悟に学びひとりひとり 一年一年 大島グループの新たな歴史を刻んでいこう。

代表 大島 誠

## 大島グループ 2022年の行動指針

### 経営の基本方針

- 1 収益性と社会性が両立する経営を実践する **バランスのとれた経営**
- 2 個性的で強靱な独自の市場を開拓する **独創的な経営**
- 3 進取性と堅実性を兼ね備えた地方発の異業種企業集団へと成長する **躍動する経営**

### 大島グループが目指す企業の姿

- 1 働く喜び・生きる喜び・成長する喜びを実感できる企業でありたい
- 2 社員と家族の生活の向上と心身の健康を増進させる企業でありたい
- 3 地域を愛し、地域に愛され、地域の誇りとなる企業でありたい

### 今年のメインテーマ

- ◆ グループ内企業の役割を見直し、企業同士の合併や廃業、分野の統合などの再編を行う
- ◆ 次世代経営者の育成を念頭に、人材の登用、教育、適所への配属を行うと共に、社外との関係性の構築の機会を創出する

### 「ターゲット5」の実現に向けて

- 1 精度の高い事業計画を立案し、実行・検証・行動の修正を経て事業目標を達成する
- 2 キャッシュフローの健全化が経営の根幹であることを共通認識する
- 3 事業計画立案に際しては「ターゲット5」の達成を目指す
 

経常利益率	5%以上
株主配当率	5%以上
社内の事業や慣例を取りやめる	5つ以上
- 4 月次の試算表を社内で作成し、翌月第5営業日までに社長および本部に報告する
- 5 毎月経営会議（役員会）を開催し、事業目標達成に向けて絶えず行動改善を行う

### 全員研修について

- 1 心と身体の健康な生活についての研修
- 2 ハラスメントに関する研修
- 3 発達障害に関する研修
- 4 SDGsに関する研修

## 創業100周年に向けて（創業100周年 2022年11月23日）

- 1 大島グループは上越地域の自然と歴史・文化・伝統を愛し、地域の活性化を担う気概を持つ。百年料亭 宇喜世と百年酒蔵 武蔵野酒造の存続と再生は、収益性と社会性の両立を標榜する大島グループの使命であり象徴である。
- 2 大島グループではハラスメントの無い職場を目指し研修を重ねている。心や身体に障害を持つ社員、介護や妊娠、出産前後の社員の存在も含め、皆が安心して活躍できる職場づくりを実践しよう。
- 3 AIとロボットを可能な限り導入し省力化をはかると共に、外国人材の採用を促進し、新たな可能性と新たな市場開拓に挑戦しよう。
- 4 若手・女性を積極的に登用すると共に、M&Aや企業連携により外部人材を受け入れることで、次世代の経営陣を育てよう。
- 5 大島グループは内外に向けて「未来を語る企業」で在り続けよう。

### 解決すべき課題

- 1 労働力不足への対応 …… 働く人のモチベーションを高める環境創り  
採用担当・社員研修の選任者を置く
- 2 新しい事業の核の創造 …… 強みの認識 他社とのコラボレーション  
事業エリアの拡大 周辺事業への挑戦
- 3 組織力を高める …… 事業計画推進の舵取り役としての総務の育成  
定期的な役員、社員との経営情報の共有
- 4 事業継承 …… 若手社員の登用と経営への参画  
経営者としての意識の醸成と経営者研修の実施
- 5 グループとしての一体感の醸成… 階層別の研修、交流機会の創出  
誰もが参加できる共同事業の実施

### 今年の管理職のテーマ

- ◆ 実質的無借金経営の実現を目指し  
利益の蓄積とキャッシュフローの健全化に努める

### 人の上に立つものの心得

- 1 常に澁淵とした精神と健康な身体であることを心がけ 努力する
- 2 自分の能力の不足と限界を認識し、目的を達成するためには敬意をもって他人の力を借りる姿勢を忘れない。
- 3 他人の話は最後まで聴く 自分の言葉は冗漫にせず、相手に真意を確実に伝える
- 4 自分の目で見て、自分の耳で聞いて、自分の身体で感じて、自分の頭で考えて判断する
- 5 組織は言ったようには動かない、自分がしている様に動く 成果は自分の人間性の高さに比例すると知る

代表 大島 誠